

1) 円はケーキやロールケーキの実物の形をしっかりとイメージさせる。模様がなければおよい。
2) 円と長方形がケーキを上から見た形だと納得させる。
3) どう切ればよいか、線を書かせる。長方形の4等分に線を本入れるのはよくあるミス。

a) ケーキを何人かで分けるために考えることは、子どもの心の実にさまざまな要素を刺激し動員する作業である。
b) 出来の良し悪しよりも、あれこれ考えた結果を表現することに意味を見つけた。
c) 分けるという作業は素朴な分数体験である。

Date /
Note
評

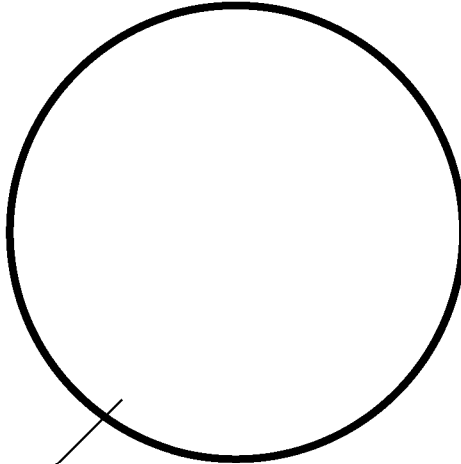


くれぐれも もんくが でないようにね。

A

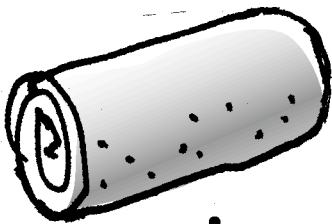


こんな まるい ケーキを
4にんで わけたい。



これは、うえから みた かたちだ。
どうきれば いいかな？

B



こんな ほそながい ロールケーキを
4にんで わけたい。



これは、うえから みた かたちだ。
どうきれば いいかな？